

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
26年度実績 運営委託；保育の委託、事業者からの運営費請求、支払い〔毎月〕 運営補助；補助申請受付、交付決定、補助金の交付（3回）、実績報告書の収取、補助金の確定		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア 民間認可保育所定員	人	730	730	775	789	744	
	イ 特別保育実施数	力所	6	6	7	7	6	
	ウ 民間認可保育所の入所を希望する児童数	人	812	903	891	889	890	
27年度計画 ・H26年度と同じ	エ							
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
・就学前児童 ・民間認可保育事業者		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：就学前児童数（4月1日現在）	人	4,668	4,553	4,468	4,405	4,396	
	イ：事業者数	業舎	6	6	7	7	6	
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
・質の高い良好な保育環境を確保する。 ・一定水準の保育体制を整備する。		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：民間認可保育所入所児童数（4月1日現在）	人	767	769	796	812	757	
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
・保育に欠ける乳児又は幼児に対し、安全で安心できる適切な保育を実施する。		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：仕事と子育てが両立できている市民の割合	%	57.6					
	イ：待機児童数（4月1日現在）	人	9	5	5	19	12	
	ウ：入所率（入所児童数／定員）	%	105.3	102.7	102.9	101.8		
	エ							
	オ							
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	184,567	182,530	199,752	233,322	0
	財源内訳	県支出金	千円	134,255	132,236	158,815	159,017	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	162,680	178,044	177,012	177,635	0
		一般財源	千円	242,694	243,777	271,583	285,671	0
事業費計（A）		千円	724,196	736,587	807,162	855,645	0	
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0	
	延べ業務時間	時間	192	400	400	450	0	
	人件費計（B）	千円	814	1,681	1,626	1,899	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	725,010	738,268	808,788	857,544	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。		・開始時期 昭和53年から ・きっかけ 民間保育所が開設したこと。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		・少子高齢化の進展や社会情勢の変化に伴う待機児童解消対策や、利用しやすい保育所を目指した保育サービスの取り組みが行われてきた。 ・本市では、昭和52年までは公立保育所のみが開設していたが、昭和53年以降、民間保育所の開設が相次いだ。 昭和53年4月「西真岡保育園」、平成12年4月「真岡めいえ保育園」、平成15年4月「萌丘東保育園」、平成19年4月「西真岡第二保育園」、平成21年3月「にのみや保育園」、平成21年4月「真岡あおぞら保育園」、平成25年4月「いちごの杜保育園」						
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		・保護者の多くは、子どもを、希望する保育所に、希望する時に入所させたいと言っている。						

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 保育の実施は法に基づくものであり、子育て支援策としての市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 保育の実施は法に基づくものであり、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 安全で質の高い保育の実施は、法に基づくものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 国や県の基準に基づき実施しており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 保育の実施は法に基づく事務事業であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 国や県の基準により実施しており、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 保育に欠ける全部の乳幼児と、認可された全部の民間保育所を対象としており、公正・公平である。 保護者等から、保育料を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																									
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																									